

令和2年第2回臨時会

令和2年度補正予算（案）の概要

第2回臨時会では、国の補正予算「新型コロナウイルス感染症対策」の施策として、低所得のひとり親世帯に対し給付金を支給する「ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費」のほか、増額された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、感染拡大防止対策及び医療体制の整備や事業継続支援、感染症収束を見据えた新たな取組に対する支援関連予算などを計上しました。

会計名	補正予算額
一般会計	13億4,500万9千円
病院事業会計	2億1,983万円
合計	15億6,483万9千円

【補正予算の主な内容】

◆ 一般会計

◇ 国の令和2年度補正予算（第2号）関連（新型コロナウイルス感染症対策）

《国の施策分》

ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費 1億6,228万5千円

低所得のひとり親世帯を支援するため、臨時特別給付金を給付

・給付対象

基本給付

- ①令和2年6月分の児童扶養手当の受給者
- ②公的年金等（遺族年金、障害年金等）を受けていることにより、令和2年6月分の児童扶養手当の支給が全部停止される者
※平成30年の収入が児童扶養手当に係る支給制限限度額を下回る者に限る

③給与収入等により所得制限限度額を超過するため、児童扶養手当の支給が全部停止される者、又は児童扶養手当の支給申請を行っていない者のうち、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、直近の収入が児童扶養手当の支給対象となる水準に下がった者

追加給付

- ④①又は②のうち、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、直近の収入が大きく減少しているとの申出があった者

◀「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」活用事業（市独自）▶

感染拡大防止対策事業費（一般管理費） **132万円**
飛沫感染予防のため本庁舎等の窓口にアクリルパーテーションを設置

小樽文化遺産情報発信・普及啓発事業費 **1,000万円**
「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」のロゴマークを選定し、
学校及び公共施設掲示用のポスター、イベント用のパネル、周遊マップ
並びに文化財の冊子を作成するなどの普及啓発事業を実施

公共交通事業者等支援事業費 **2,600万円**
公共交通事業者等の事業継続を支えるため、業態や規模に応じて支援金を
支給

- ・支給対象：市内に本社又は営業所を置く、路線バス、貸切バス、法人・
個人タクシー事業者
- ・支給要件：令和2年3～7月のいずれかの月の売上げが前年同月比30%
以上減少している事業者

避難所衛生環境整備事業費 **560万円**
(2定) 64万8千円→(補正後) 624万8千円
避難所における集団感染防止を図るため、備蓄品として、非接触型赤外線
体温計、消毒液及び間仕切り等を整備

離職者支援給付金支給事業費 **1,580万円**
支給要件の全てを満たす者に対し、一人当たり5万円を支給
※申請者の世帯に令和2年4月28日から申請日までの間に出生した子がいる
場合、対象者一人につき5万円を加算

- 支給要件
- ・感染拡大により令和2年3月1日から9月30日までの間に離職し、
申請日時点で再稼働に至っていない者
 - ・稼働中から申請日まで市内に住所を有している者
 - ・離職日まで3か月以上被雇用者として稼働していた者
(法人の代表者や個人事業主を除く)
 - ・申請日時点で生活保護を受給していない者

身体障害者福祉センター施設関係経費（検温アラームシステム整備事業費）
35万円
開館時の感染防止のため、サーマルカメラを整備

障害福祉施設事業継続支援事業費 1, 236万円

感染対策に留意しつつ、今後も安定的な事業所運営を行っていただくため、事業区分や規模に応じて支援金を支給

支給要件

- ・市内に事業所を設置し、令和2年6月1日現在、各根拠法令に基づく指定・認可・届出・登録があること
- ・令和2年9月30日までの間に廃止又は休止の予定がないこと
- ・令和2年2月から6月までの間にサービス等の利用者がいること

介護保険施設事業継続支援事業費 3, 052万円

感染対策に留意しつつ、今後も安定的な事業所運営を行っていただくため、事業区分や規模に応じて支援金を支給

支給要件

- ・市内に事業所を設置し、令和2年6月1日現在、各根拠法令に基づく指定・認可・届出・登録があること
- ・令和2年9月30日までの間に廃止又は休止の予定がないこと
- ・令和2年2月から6月までの間にサービス等の利用者がいること

検温アラームシステム整備事業費（総合福祉センター費） 35万円

開館時の感染防止のため、サーマルカメラを整備

児童福祉施設事業継続支援事業費 494万円

感染対策に留意しつつ、今後も安定的な事業所運営を行っていただくため、事業区分や規模に応じて支援金を支給

支給要件

- ・市内に事業所を設置し、令和2年6月1日現在、各根拠法令に基づく指定・認可・届出・登録があること
- ・令和2年9月30日までの間に廃止又は休止の予定がないこと
- ・令和2年2月から6月までの間にサービス等の利用者がいること

市民会館・公会堂・市民センター施設関係経費（検温アラームシステム整備事業費）

254万6千円

市民会館、市民センターにおいて、開館時の感染防止のため、検温アラームシステムを整備し、デジタルサイネージとして新北海道スタイルの周知等にも活用

公会堂において、開館時の感染防止のため、サーマルカメラを整備

銭函市民センター施設関係経費（検温アラームシステム整備事業費） **35万円**

開館時の感染防止のため、サーマルカメラを整備

いなきたコミュニティセンター施設関係経費（検温アラームシステム整備事業費） **35万円**

開館時の感染防止のため、サーマルカメラを整備

検温アラームシステム整備事業費（火葬場費） **85万8千円**

開場時の感染防止のため、ドーム型サーマルカメラを整備

検査室環境整備事業費 **2,485万3千円**

（2定）509万8千円→（補正後）2,995万1千円

検査体制を強化するため、PCR検査及び抗原定量検査に関する機器、
試薬等を拡充

感染症患者宿泊療養施設等移送事業費 **700万円**

（2定）96万7千円→（補正後）796万7千円

感染症患者の増加による移送見込回数が増

感染症医療物資備蓄事業費 **4,300万円**

防護用品の需要急増による品不足に対応するため、N95マスク、ニトリル
グローブを備蓄

クラスター対策事業費 **320万円**

クラスター発生時における濃厚接触者等の健康観察業務の増加に対応する
ため、人員体制等を強化

10か月児健康診査個別実施支援事業費 **260万円**

感染拡大防止のため、集団健診から医療機関における個別健診へ切り替え

「小樽で働く」就労支援事業費 **1,500万円**

解雇、雇い止め等を受けた、市内企業に就職希望の市内在住者に対し、
3か月間雇用しながら、ビジネススキル向上に資する研修を受講させ、
正社員として安定就業する機会を創出

検温アラームシステム整備事業費（勤労青少年ホーム費） 25万円
開館時の感染防止のため、サーマルカメラを整備

検温アラームシステム整備事業費（勤労女性センター費） 25万円
開館時の感染防止のため、サーマルカメラを整備

検温アラームシステム整備事業費（自然の村費） 35万円
開館時の感染防止のため、サーマルカメラを整備

休業及び感染防止協力金支給事業費 602万円
昼間にカラオケを提供する飲食店舗の休業及び感染拡大防止対策の取組に対し、1店舗当たり20万円を支給
・支給要件：7月4日（土）から17日（金）までの休業
新北海道スタイルの実践など感染防止対策への取組

飲食店支援金支給事業費 1億4,038万円
「飲食店における昼間のカラオケ」を原因とするクラスターによる影響を受けた飲食店舗の事業継続を支援するため、1店舗当たり20万円を支給
・対象店舗：全ての飲食店舗（昼間にカラオケを提供する飲食店舗は除く）
・支給要件：新北海道スタイルの実践など感染防止対策への取組

製造業等事業継続支援事業費 1億1,200万円
感染拡大からこれまで市及び道の支援が行き届いていない業種を営む事業者に対し、事業継続を支えるため、従業者数に応じて支援金を支給
・支給要件：令和2年3～7月のいずれかの月の売上げが前年同月比30%以上減少している事業者

新型コロナウイルス感染症対応促進事業費 1億7,700万円
市内の事業者等に対し、感染拡大防止のための取組及び新型コロナウイルス感染症に対応した販路開拓や経営改善等の新たな取組に係る費用の一部を補助（がんばる補助金）

小樽産品販売チャネル多角化事業費 **3, 850万円**

・新たな小樽フェア開催支援事業費補助金 **2, 250万円**

感染拡大の影響により、北海道物産展の開催が不透明であるため、市内製造事業者や卸・小売事業者の新たな販路開拓として、百貨店の地下食料品売場や食品スーパー、道の駅などで小樽フェアを開催する経費の一部を補助

・助成先：(一社) 小樽物産協会

・バーチャル小樽物産展開催支援事業費補助金 **1, 600万円**

物産協会の通販サイト「小樽家族」を再構築するとともに、山形屋(鹿児島市)等本市と関わりが深い百貨店5社と連携し、紙媒体によるバーチャル小樽物産展を開催する経費の一部を補助

・助成先：(一社) 小樽物産協会

自然観光資源整備事業費 **2, 000万円**

「3密」とならない観光資源の充実のため、天狗山などの自然、眺望施設を整備するとともに小樽の自然の魅力を発信するPRコンテンツを作成・発信

観光物産プラザ管理運営経費(検温アラームシステム整備事業費)
144万8千円

開館時の感染防止のため、検温アラームシステムとサーマルカメラを整備し、デジタルサイネージとして新北海道スタイルの周知等にも活用

宿泊業事業継続追加支援事業費 **1億2, 000万円**

市内宿泊事業者の事業継続を支えるため、令和元年度水道料金・下水道使用料相当額を1,000万円を上限に支援金として支給

支給要件

- ・令和2年3～7月のいずれかの月の売上げが前年同月比30%以上減少している事業者(ラブホテル、民泊施設は対象外)
- ・令和2年4月1日以前に開業しており、今後も事業継続の意思があること

宿泊施設誘客促進事業費補助金 **6, 000万円**

宿泊客回復のための誘客を図る宿泊プラン造成及びその広告宣伝事業に係る経費を、業態や規模に応じて助成

・助成先：市内宿泊施設及び民泊施設(ラブホテルは対象外)

感染症対策等事業費	
・ 小学校費	2, 000万円
・ 中学校費	1, 250万円
学校再開に伴い、各小・中学校で感染症対策等の取組を実施	
学習保障等対策事業費	
・ 小学校費	1, 900万円
・ 中学校費	1, 250万円
感染症対策下における、教育活動に必要な取組を実施	
検温アラームシステム整備事業費（図書館費）	25万円
開館時の感染防止のため、サーマルカメラを整備	
感染拡大防止対策事業費（総合博物館費）	50万円
開館時の感染防止のため、運河館にシーリングファンを整備	
検温アラームシステム整備事業費（総合博物館費）	100万円
開館時の感染防止のため、本館及び運河館にサーマルカメラを整備	
検温アラームシステム整備事業費（美術館費）	50万円
開館時の感染防止のため、サーマルカメラを整備	
検温アラームシステム整備事業費（生涯学習プラザ費）	25万円
開館時の感染防止のため、サーマルカメラを整備	
感染拡大防止対策事業費（総合体育館費）	129万8千円
3密防止のため、冷風機、扇風機及び網戸を整備	
検温アラームシステム整備事業費（総合体育館費）	120万2千円
開館時の感染防止のため、ドーム型サーマルカメラを整備	
職員給与費（職員手当等）	709万2千円
新型コロナウイルス感染症に対応する保健師や消防隊員等に特殊勤務手当を支給	

病院事業会計への繰出金 2億2,343万7千円

(その他)

[歳入] 財政調整基金繰入金 179万2千円

◆ 病院事業会計

医業外収益 △360万7千円
院内テナント料等の減免

医業費用 9,142万円
新型コロナウイルス感染症対応に係る給与費
インジェクター吸引器 ほか材料費
新型コロナウイルス感染症対応に係る各種事務費・物品の購入費等

建設改良費 1億2,841万円
移動型デジタルX線撮影装置 ほか医療機器等の購入
感染症対応病床空調設備改修工事 ほか院内改修工事

[歳入] 一般会計繰入金 2億2,343万7千円
(地方創生臨時交付金)